（別添書類）

履 歴 書（記 入 例）

文化財建造物修理主任技術者講習会（　上級コース　）
令和6年4月1日現在

ふりがな　〇〇〇　〇〇〇

氏　名　〇〇　〇〇

生年月日　昭和〇〇年〇〇月〇〇日生　　性別　男

現住所　〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

電話番号　〇〇〇－〇〇〇－〇〇〇〇　　その他連絡先　〇〇〇－〇〇〇〇－〇〇〇〇（携帯電話）
〇〇@〇〇〇〇（メールアドレス）

勤務先

住所　〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

電話番号　〇〇〇－〇〇〇－〇〇〇〇（内線〇〇〇）

学歴	年　月　日	［高等学校卒業から最終学歴まで　欄は適宜増減してください］
	平成〇年〇月〇日	〇〇県立〇〇高等学校卒業
	平成〇年〇月〇日	〇〇大学〇〇学部卒業
	平成〇年〇月〇日	〇〇大学大学院〇〇専攻〇〇課程修了

職歴	年　月　日	［組織・機関，配属先，職名　欄は適宜増減してください］
	平成〇年〇月〇日	〇〇に〇〇として採用
	平成〇年〇月〇日	〇〇保存修理事務所　主任補佐
	平成〇年〇月〇日	〇〇に昇任
		現在に至る

研修歴	年　月　日	［研修名（主催），日数　欄は適宜増減してください］
	平成〇年〇月〇日	〇〇研修（〇〇主催）　〇日間

資格等	年　月　日	［資格名称（所管官庁等）　欄は適宜増減してください］
	平成〇年〇月〇日	〇〇建築士　（国土交通省）
	平成〇年〇月〇日	〇〇作業主任者　（厚生労働省）

（記入要領）

本履歴書は講習会の選考に使用するため，提出を求めるものです。本講習会の資料以外には使用いたしません。

※令和６年４月１日現在で記入すること。

※本調書は，本人が記入すること（すべてパソコン入力可）。

1. 氏名等　氏名，ふりがな，生年月日，性別を記入してください。

2. 現住所　現住所，連絡先を記入してください。その他連絡先には携帯電話、メールアドレス等の連絡先を記入してください。

3. 勤務先　現在通勤している勤務先を記入してください。

4. 学歴　卒業した高等学校名等を記入してください。大学院修了者は，大学院名の他に卒業した大学名・学部名も記入してください。

5. 職歴　現在の職務に至るまでの職歴を正確に記入してください。

6. 研修歴　参加経験のある文化財建造物関連の研修を記入してください。

7. 資格等　職務に関係のある資格を記入してください。

（別添書類）

令和６年度文化財建造物主任技術者講習会（上級コース）

様式３「文化財建造物に係る業務歴」の記入要領

１．氏名等

氏名，ふりがな，生年月日を記入してください。

２．文化財建造物に係る業務に従事した期間

業務歴の審査を希望する期間を記してください。期間は年月日（H○○．○○．○○の形式）で記し，経験年数を「年，箇月」で記入してください。

経験月数は，自動計算されます。

３．業務歴の一覧表

文化財建造物に係る全ての業務を記してください。欄が不足する場合は適宜追加してください。

①**業務名**：業務名称が不定の場合は，業務内容がわかるよう具体的に記してください。

②**文化財の種別**：業務従事時の文化財建造物の種別を記してください。（例：国宝，重要文化財，都道府県指定有形文化財，市町村指定有形文化財，史跡・名勝，登録有形文化財など）

③**文化財の所在地**：都道府県名，市町村名を記してください。

④**文化財の構造・形式**：文化財の構造，規模等の概要がわかるように記してください。

⑤**保存修理工事の内容**：保存修理工事の内容を記してください（例：解体修理，半解体修理，屋根葺替（屋根葺材），部分修理，塗装修理など）。複数棟にわたる場合は棟毎に記してください。

⑥**業務内容**：当該業務における業務の内容を記してください（例：修理設計，設計監理，修理監理，文化財調査，○○計画策定，耐震診断など）。文化財保護行政実務（技術指導など）に従事した期間についても記してください。

⑦**業務における立場**：当該業務において果たした役割を記すこと（例：主任技術者（文化庁承認），工事主任，工事主任補佐，補助員など）。文化財保護行政実務においては担当係などを記してください。

⑧**現場常駐**：保存修理工事の現場に，専ら常駐して携わった業務に「○」を入力してください。

⑨**業務期間**：当該業務の開始と終了の年月を記し，期間の長さを月数で記してください。

⑩**期間における業務専念率**：同期間に併行して複数の業務を行った場合は，当該業務に専念した割合を百分率で示し，専念月数を計算してください。

⑪**専念月数**：集計欄の「月数（専念）」，「年数（専念）」とともに自動計算されます。

（別添書類）

文化財建造物に係る業務歴（記入例）

文化財建造物修理主任技術者講習会（上級コース）

	ふりがな	○○○　○○○
1.	氏　名	○○　○○
	生年月日	平成○○年○○月○○日生

令和6年4月1日現在

2. 文化財建造物に係る業務に従事した期間：

自	H20.4.1	至	R6.3.31	経験年数	16	年	0	箇月	経験月数	192

3. 業務歴　［欄が不足する場合は適宜挿入してください］

通番	① 業　務　名	② 文化財の種別	③ 文化財の所在地	④ 文化財の構造・形式	⑤ 保存修理工事の内容	⑥ 業務内容	⑦ 業務における立場	⑧ 現場常駐	⑨業務期間 開始（年.月）	 終了（年.月）	 月数	⑩ 期間における業務専念率	⑪ 専念月数
1	（例）重要文化財○○神社本殿保存修理	重要文化財	○○県 ○○○市	木造　一間社流造	解体修理	設計監理	主任補佐	○	H20.4	H20.12	9	100	9
2													0
3													0
4													0
5													0
6													0
7													0
8													0
9													0
10													0
11													0
12													0

専念月数合計	9.0
専念年数合計	0.8